

家族看護学	2年・後期	1単位 15時間	教授 芝山江美子
科目カテゴリー	看護提供のあり方	科目ナンバリング	33310952

1. 授業のねらい・概要

家族を対象とした看護は、どのような看護の領域においても重要である。本科目では、家族看護の諸理論および家族を対象とした看護過程の展開を通して家族への看護について学ぶ。

2. 到達目標

1. 家族看護の基本となる諸理論について理解する。
2. 家族を対象とした看護過程の特徴について理解する。
3. 家族看護過程の展開によって家族看護への理解を深める。

3. 授業の進め方

講義と個人ワーク・グループワークを中心に授業を行う。

4. 授業計画（講義・演習） * 改訂したもの

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	家族の定義・機能	講義	予習：P42 家族の定義・形態についてレポートにまとめる。テキストの家族の部分を事前に読む。 復習：家族看護の特徴についてレポートにまとめる。	芝山江美子
2	家族看護過程の特徴	講義	予習：P43 家族アセスメントについてレポートにまとめる。 復習：家族アセスメント時の留意点についてレポートにまとめる。	芝山
3	家族看護過程 事例展開①	講義	予習：P134-141 在宅で療養する患者の事例展開についてレポートにまとめる。 復習：自分が今回学んだ事例を通してレポートにまとめる。	芝山
4	家族看護過程 事例展開②	講義	予習：P142-149 在宅で終末期を迎える患者の事例展開についてレポートにまとめる。 復習：在宅で終末期を迎える患者の事例を通して学んだことをレポートにまとめる。	芝山
5	家族看護過程 事例展開③	講義	予習：P120-126 急性期にある患者の事例展開についてレポートにまとめる。 復習：急性期にある患者の事例を通して学んだことをレポートにまとめる。	芝山
6	家族看護過程 事例展開④	講義	予習：P157-163 精神疾患を抱える患者の事例展開についてレポートにまとめる。 復習：精神疾患を抱える患者の事例を通して学んだことをレポートにまとめる。	芝山
7	家族看護の基本となる諸理論	講義	予習：エンパワーメントモデルと家族援助についてレポートにまとめる。 復習：基本となる諸理論を通して学んだことをレポートにまとめる。	芝山
8	家族看護過程のまとめ	講義	予習：日本社会における家族の形態の変化についてレポートにまとめる。 復習：今まで第1回～7回で学んだことをレポートにまとめる。	芝山

4. 授業計画（講義・演習） *以前のもの

1. 家族の定義・機能	5. 家族看護過程 事例展開 ③
2. 家族看護過程の特徴	6. 家族看護過程 事例展開 ④
3. 家族看護過程 事例展開 ①	7. 家族看護の基本となる諸理論
4. 家族看護過程 事例展開 ②	8. 家族看護過程のまとめ

5. 成績評価の方法・基準

定期試験（受験資格は3分の2以上の出席した者）70%，事例展開30%で総合的に評価する。

6. テキスト・参考文献

テキスト：中野 綾美，瓜生浩子（2021）：家族看護学，家族のエンパワーメントを支えるケア，メディカ出版。

参考文献等：講義中，適宜資料を配布する。

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

事例展開の予習（事例を読み込み，演習シートの記入）を行う。また講義で行った内容を復習すること。

8. 受講上の留意事項

積極的，自主的に講義および事例展開に臨むこと。

遅刻，欠席ならびに授業中の私語，授業に関係ない言動（スマホの使用等）は慎むこと。

講義時間開始後の無断での教室の入室および退出は慎むこと。

9. 課題に対するフィードバックフィードバック方法

試験の解答は試験後に口頭にて解説する。

提出された課題は教員が確認して返却する。内容が不備なものは再提出を求める。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

必修科目であり，習得できない場合進級不可となる。

11. 該当する本授業は，以下の実務経験を活かして実施される

行政委託機関及び医療機関における保健師としての実務経験を活かして，講義・演習を行う。